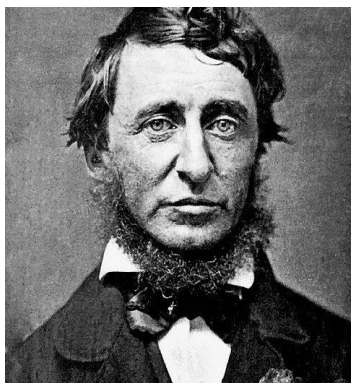


『Mind Charging』

第 31 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 5 月 16 日

ソローの名言



This world is but a canvas to our imaginations.

この世界は、我々の想像力を描くためのキャンバスにすぎない。

このコラムで紹介したい人を探していて見つかった人なので、ソローについて詳しくはわかりませんが、少し調べてみると、この言葉が象徴するやうにとってもポジティブで、壮大な思想を持った『自由』な人柄だったようです。

世界(社会)をパズル化したら、自分の存在なんてほんの小さなピースのひとつに過ぎないという意識の方が強くなりがちですが、確かに世界は自分自身を含めた世界中の人々がどう考え、どう生きるかによって様々な表情を『時代の変化』という形で見せてきたのだと思いますし、伝統的な文化として定着したり、時には思想がぶつかり合って戦争が起きてしまったりということを繰り返しながら今に至るのだと思います。

先日、ある建築業界の方のインタビュー動画を見ましたが、『目に見える物は全て作ることができるはずだ』とコメントしていました。見た物がどのように作られているかをどこまでリアルに『想像』できるかが重要だということです。そういう意味では私たちが抱く『夢』も、きっと実現できるはずなのです。そのための道筋をどのように想像(設定)できるかがカギなのではないでしょうか。

みなさんが抱いている夢はどのようなものでしょうか。叶えるためにどのようなことが必要でしょうか。叶った時に、その喜びをできるだけ多くの人と分かち合えたら幸せですね。逆に今の時点では夢らしい夢はありませんという人もいます。夢は叶うかどうかよりも、叶った時を想像しながら努力する時間の方が大切だと思います。正にそれが『夢の時間』であり、『夢中』ということではないでしょうか。(編集委員：入試広報室 鈴木)

ヘンリー・デイヴィッド・ソロー(Henry David Thoreau, 1817年7月12日 - 1862年5月6日)は、アメリカ合衆国の作家・思想家・詩人・博物学者。マサチューセッツ州コンコード市出身。ハーバード大学卒業後、家業の鉛筆製造業、教師、測量の仕事などにも従事したが、生涯を通じて定職につかず、やがて学生時代に熟読した『自然』の著者で超絶主義者(英語版)のラルフ・ワルド・エマーソンらと親交を結んだ。(Wikipedia 参照)